

新ビジョンに係る主な施策における主要事務事業(令和6年度・令和7年度)

主な施策	事務事業番号	主要事務事業名	事業概要	R6	R7	担当課	KPI (成果指標①)					KPI (成果指標②)					R6予算額(千円)	R7予算額(千円)	
							事業目標	基準値	基準年度	R6目標値	R7目標値	事業目標	基準値	基準年度	R6目標値	R7目標値			
I 「稼げるまち」の実現																			
北九州空港の物流拠点化と空港機能の強化	1	航空物流支援事業	集貨ルートの確立や特殊大型貨物(シー&エア輸送)の取込み、大型貨物定期便の誘致・安定化、通関機能の確立を目的として、トラック経費の支援(空港と物流拠点施設間)や航空会社への運航支援を実施する。	●	●	空港企画課	航空貨物取扱量 (R10年度目標:5万トン)	1.2万トン	R5	—	—							307,960	225,461
	2	次世代航空物流構築事業【県・町連携】	2024年問題や脱炭素社会など、次世代物流の構築を目的として、国内貨物定期便の集貨支援や半導体貨物への重点的な集貨支援の取組みを実施する。	●	●	空港企画課	航空貨物取扱量 (R10年度目標:5万トン)	1.2万トン	R5	—	—							65,000	65,000
	3	北九州空港整備事業地元負担金	滑走路延長をはじめ、北九州空港の機能強化に伴う経費を負担する。	●	●	空港企画課	航空貨物取扱量 (R10年度目標:5万トン)	1.2万トン	R5	—	—							533,333	934,133
	4	次世代空港機能強化事業	貨物取扱機能の向上を目的に、拡張された貨物地区への物流事業者の集積を図るため、上下水道等インフラ整備を実施する。		●	空港企画課	航空貨物取扱量 (R10年度目標:5万トン)	1.2万トン	R5		—								
東アジアのゲートウェイ空港を目指した北九州空港旅客路線・アクセスネットワーク強化	5	新規航空路線支援事業【県・町連携】	新規航空路線の誘致や就航路線の安定化を目的として、航空会社への運航支援や利用促進などの取組を実施する。	●	●	空港企画課	北九州空港利用者数 (R10年度目標:200万人)	118万人	R5	—	—							135,402	125,149
	6	国内線集客促進事業【苅田町連携】	ビジネス需要を補完する新たな旅客需要の取込みに向け、国内基幹路線の羽田線の利用促進を目的として、早朝深夜便の利用促進や首都圏共同プロモーションなどの取組を実施する。	●	●	空港企画課	北九州空港利用者数 (R10年度目標:200万人)	118万人	R5	—	—							25,962	10,720
	7	空港受入体制強化事業【苅田町連携】	旅客便及び貨物便の受入に向け、地上支援業務従事者不足の解消を目的として、通勤環境改善などの新規雇用促進支援を実施する。	●	●	空港企画課	北九州空港利用者数 (R10年度目標:200万人)	118万人	R5	—	—							14,285	11,285
	8	空港アクセス強化事業	バス、鉄道などの多様な交通手段を生かした空港アクセス強化を目的として、エアポートバスの増便(小倉・杵網)や鉄道との乗継強化、バス待合環境向上などの取組を実施する。	●	●	空港企画課	北九州空港利用者数 (R10年度目標:200万人)	118万人	R5	—	—							251,825	239,800
	9	広域集客促進事業	国内外の旅客需要の取込みを目的に、北九州空港を起点に博多・大分方面へのアクセス利便性向上に向け、MaaS事業(シームレス決済)を実施する。		●	空港企画課	北九州空港利用者数 (R10年度目標:200万人)	118万人	R5		—								
北九州港の機能強化	10	太刀浦地区土砂処分場整備事業	北九州港の東部地区における航路や泊地の浸没等による港湾機能の維持・向上のため、新たな土砂処分場の整備を行う。	●	●	計画課	公有水面埋立免許の取得	—	—		土地利用計画の策定	環境アセスの実施(現地調査)基本設計の実施						10,000	94,300

※R6年度の主要事務事業に該当する場合はR6欄に「●」、R7年度の主要事務事業に該当する場合はR7欄に「●」を記載しています。

新ビジョンに係る主な施策における主要事務事業(令和6年度・令和7年度)

主な施策	事務事業番号	主要事務事業名	事業概要	R6	R7	担当課	KPI (成果指標①)					KPI (成果指標②)					R6予算額(千円)	R7予算額(千円)
							事業目標	基準値	基準年度	R6目標値	R7目標値	事業目標	基準値	基準年度	R6目標値	R7目標値		
北九州港の利用促進	11	海上モーダルシフト促進事業	2024年問題の解決と物流における環境負荷低減の促進を目的として、陸上輸送から海上輸送への転換を図るため、フェリー・RORO航路を初めて利用する事業者に対する補助を実施する。	●	●	物流振興課	北九州港海上出入貨物取扱量 (R11目標: 10,900万トン)	9,857万トン	R5	R5年比増加	R6年比増加						7,400	7,400
	12	港湾利用促進支援事業	北九州港に寄港する船会社の航路維持・拡大及び集貨拡大を目的として、新たな航路・貨物に対する補助を行う。	●	●	物流振興課	北九州港海上出入貨物取扱量 (R11目標: 10,900万トン)	9,857万トン	R5	R5年比増加	R6年比増加						88,610	100,000
	13	北九州港集貨航路誘致事業	セミナーの開催や、様々な媒体を利用したPR及び官民一体となったポートセールス活動などを通じて、北九州港への集貨・航路誘致を行う。	●	●	物流振興課	北九州港海上出入貨物取扱量 (R11目標: 10,900万トン)	9,857万トン	R5	R5年比増加	R6年比増加						11,075	11,345
産業用地の創出・確保	14	臨海部産業用地活用事業	臨海部産業用地の維持管理及び売却・貸付を実施する。臨海部産業用地への企業立地に向け、埋立地の造成を行う。	●	●	港営課 整備課	臨海部用地への分譲促進	—	—	臨海部用地年2件以上の分譲	臨海部用地年2件以上の分譲	新門司埋立地の分譲完了 (16.3ha)	0ha	R5	4.8ha	単年度目標設定なし	242,000	1,795,981
風力発電関連産業の「総合拠点」の形成	15	響灘地区におけるエネルギー関連産業の拠点形成事業	響灘地区の充実した港湾インフラと広大な産業用地を活用し、風力発電関連産業の総合拠点の形成を推進する。	●	●	エネルギー産業拠点化推進課	4つの拠点機能(「積出・建設拠点」「製造産業拠点」「物流拠点」「O&M拠点」)の形成	1機能	R5	2機能(累計)	4機能(累計)	浮体式拠点の形成 (R12までに1箇所)	0箇所	R5	単年度目標設定なし	単年度目標設定なし	2,576,522	498,772
III 「安らぐまち」の実現																		
港湾の防災・減災機能の強化	16	海岸(高潮)事業	高潮の災害から背後地の住居や立地企業を守るため、海岸保全施設の整備を行う。	●	●	整備課	後背地防護面積の拡大 (74ha)	0ha	H24	66.8ha	70.8ha						50,000	30,000

※R6年度の主要事務事業に該当する場合はR6欄に「●」、R7年度の主要事務事業に該当する場合はR7欄に「●」を記載しています。